

令和7年度 山下地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

地域の活動団体がサロン等含め少しずつ増えてきている中、継続して活動していけるよう支援してくとともに、様々な会議や定例会に参加し、顔の見える関係を維持し、地域課題やニーズを見つけ、解決に向けて関係機関と協働していきます。また、ケアプラザが多世代が集える場として活用してもらえるように、講座や事業を通じて周知していきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| ☐ | ☒ | まちづくり委員会、生活支援推進委員会に参加し、地域の課題解決に向け協力していく。また、ボランティアセンターの活動へ連絡会を通し、運営や周知方法など後方支援をしていく。 |
| ☐ | ☒ | 事例検討会を行い、ケアマネ同士の意見交換や情報共有をすることでケアマネ業務の精神的な負担を軽減する。地域のサロンや行事の再開、新たな移動販売などが始まっていることを、チラシなどを活用しケアマネジャーに周知していく。 |
| ☐ | ☒ | 8050等の課題を抱える世帯が増加傾向にある。他部署と連携していくため、担当者と連絡先を明確にすることを継続し、地域課題やケースの課題を発信していくことを継続する。 |
| ☐ | ☒ | 地域活動のイベントに参加し、積極的にコミュニケーションを図り、ニーズや課題を理解した上でケアプラザで定期的な居場所づくりをする。福祉教育から地域とのつながりや見守りなど支えあいのまちづくりと一緒に構築できるように取組む。
地域住民に障がい児者を理解し見守りや支え合いができるような交流会をの機会を作る |
| ☒ | ☐ | 認知症予防や啓発など活動を通して周知していくとともに、地域で安心して暮らせるように、家族の声を聞ける場や居場所づくりを当事者を交えて話し合いをしていく。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

地域の関係団体とは連携し支援ができていたと考える。地域の一人暮らしの方々と周囲の住民の方々がゆるやかな見守りができ、何かあれば包括支援センターに連絡があり、民生委員や関係する事業者と連携がとれた。ケアマネ支援では地域での現状や活動している団体の情報を活用してもらえるよう、事例検討会などで周知している。特にサロンが活発化しているため利用者への参加を促すよう周知した。世帯での課題が増加しているなか、他部署との連携や担当や役割分担など対応していた。またケアマネジャーにもリスクが潜んでいる場合もあるので、些少であっても早いうちから連携できるように周知した。地域でのイベントが活発化しているなか、ケアプラザとしても集える場として周辺の障害事業所や学校の福祉教育を通して、交流する機会をもった。今年度が始まったチームオレンジでは、若年性認知症の方々と対象に家族にも声をかけ、居場所づくりを話し合いながら実施した。また認知症についての啓発についても小学生や地域のサロンで周知した。

☐ 区からのコメント

高齢者に加え、障害のある方やご家族、子育て世代にとっても利用しやすいケアプラザとなるよう支援機関等とのネットワーク構築を進めることができました。また、地域のサロンの立上げや活動支援、ネットワーク構築を丁寧に進めました。引き続き、ケアプラザ事業の周知と併せて、地域活動の周知が広がるような取組を進めていただくことを期待しています。ケアマネジャー支援では、支援困難事例を抱えるケアマネジャーに対して、地域ケアプラザが相談・助言を的確に行い、また、事例検討等を通して支援につなげることができています。地域のサロンでも、認知症に関する講座を開催するなど、認知症の方や家族への理解を促進する活動を行っていました。引き続き、地域住民が集まる場所で認知症やチームオレンジ等について普及啓発活動の継続をお願いします。

令和7年度山下地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	・市、区や関係団体の連絡会等での研修に参加し、各職種に必要なスキルを学ぶ。 ・公正、中立性の確保について、利用者へハートページなど使用し情報提供を行い、本人が主体となって選択できるように動く。	緊急時対応マニュアルとしてファイルを作成。 利用者の急変時や事故への対応、災害時の対応。 苦情対応や個人情報に関してのマニュアル作成。マニュアルを作成し、ファイルとして確認できるようにしている。 法人が行う個人情報や人権などの職員研修に参加し伝達している。また行政や市社協が行っている研修へ必要に応じて参加している。
実績	11/21 人権擁護 12/19 接遇に関する研修	4/11 個人情報保護 5/16 事故防止・対応研修 6/20 感染症に関する研修 9/19 2/20災害時の対応について 10/17 倫理・法令順守 11/21 人権擁護 12/19 接遇に関する研修

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	緑区内の居宅介護支援事業所に対して自立支援に基づいた適切な介護予防ケアマネジメントが作成できるよう支援している。	利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営めるよう支援を行うと共に、利用者の家族が身体的・精神的負担を軽減できるようケアプランを作成します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】 事業者の担当者もしくは居宅介護支援事業者の介護支援専門員が、通常のサービス提供地域を超えて訪問・出張する必要がある場合は、実費(交通費)の支払いが必要となります。	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】 事業の実施地域を超える場合の交通費 実費を徴収 (実費とは最短の公共交通機関を利用した場合の費用の合計とする)
職員体制	常勤職員3名	常勤職員1名非常勤職員1名
契約者数	直担 49名 委託 123名	46名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「横浜山下地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,255,445	401,361	18,656,806	17,438,806	1,218,000	横浜市より
内 受領額	18,255,445	401,361	18,656,806	18,656,806	0	
内 戻入額				△ 1,218,000	1,218,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	61,000	△ 61,000	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0		0	
内 その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	18,255,445	401,361	18,656,806	17,499,806	1,157,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,128,497	161,361	12,289,858	11,472,272	817,586	法人本部経費が含まれていません
内 本俸	10,290,153	161,361	10,451,514	8,875,825	1,575,689	所長0.1875名、コーディネーター1名、サブコーディネーター4名
内 社会保険料	1,000,000		1,000,000	1,364,907	△ 364,907	
内 手当計	700,000		700,000	993,666	△ 293,666	「調整手当」「超過勤務手当」「期末手当」「退職手当」「その他手当」の合計
内 健康診断費	30,000		30,000	43,529	△ 13,529	健康診断、インフルエンザ予防接種
内 勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
内 退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	105,338	△ 5,338	横浜社会福祉協議会共済掛金
内 その他	8,344		8,344	89,007	△ 80,663	独)福祉医療機構退職共済掛金
事務費	1,304,120	0	1,304,120	653,517	650,603	
内 旅費	30,000		30,000	4,977	25,023	研修等参加時交通費
内 消耗品費	464,120		464,120	44,012	420,108	コピー用紙、プリンター、事務用品
内 会議諸費	0		0	0	0	
内 印刷製本費	60,000		60,000	102,687	△ 42,687	広報誌印刷、資料等印刷代
内 通信費	70,000		70,000	179,334	△ 109,334	電話料金、参加案内等郵送料金
内 使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	21,120	0	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120	21,120	0	令和7年度分
内 内 その他	0		0	0	0	
内 備品購入費	54,000		54,000	0	54,000	
内 図書購入費	0		0	4,675	△ 4,675	
内 施設賠償責任保険	6,000		6,000	4,652	1,348	個人情報漏洩、業務中傷害、感染症
内 職員等研修費	25,000		25,000	0	25,000	
内 振込手数料	5,000		5,000	5,390	△ 390	事業講師派遣料等振込手数料
内 リース料	530,000		530,000	202,188	327,812	コピー機、AED、パソコン
内 手数料	38,880		38,880	5,382	33,498	パソコンセキュリティ
内 地域協力費	0		0	0	0	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
内 印紙税			0		0	
内 その他			0		0	
その他			0	79,100	△ 79,100	ガソリン代、自動車保険料、市社協会費、緑区社協会費
事業費	107,700	0	107,700	243,431	△ 135,731	法人本部経費が含まれていません
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	107,700		107,700	243,431	△ 135,731	
内 その他			0		0	
管理費	2,923,000	240,000	3,163,000	2,993,617	169,383	法人本部経費が含まれていません
内 光熱水費	1,250,000		1,250,000	1,200,001	49,999	
内 清掃費	1,244,000		1,244,000	1,310,452	△ 66,452	
内 機械警備費	220,000		220,000	208,560	11,440	
内 設備保全費	209,000	0	209,000	274,604	△ 65,604	
内 空調衛生設備保守	50,000		50,000	0	50,000	
内 消防設備保守	70,000		70,000	69,520	480	
内 電気設備保守	0		0	0	0	
内 害虫駆除清掃保守	60,000		60,000	47,795	12,205	
内 駐車場設備保全費	0		0	0	0	
内 その他保全費	29,000		29,000	157,289	△ 128,289	
内 共益費			0		0	
内 その他		240,000	240,000		240,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	1,318,128	0	1,318,128	0	1,318,128	
内 物備高騰支援金	1,318,128		1,318,128		1,318,128	
支出合計	18,255,445	401,361	18,656,806	15,362,837	3,293,969	
差引	0	0	0	2,136,969	△ 2,136,969	

自主事業費 収入	0	0	0	61,000	△ 61,000	
自主事業費 支出	107,700	0	107,700	243,431	△ 135,731	
自主事業 収支	△ 107,700	0	△ 107,700	△ 182,431	74,731	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	△ 21,120	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「横浜市山下地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部							(単位：円)
科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】		25,254,391	227,639	25,482,030	25,020,030	462,000	横浜市より
内 訳	受領額	25,254,391	227,639	25,482,030	25,482,030	0	
	戻入額				△ 462,000	462,000	
指定管理料【介護予防】		154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】		200,000		200,000	200,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】		4,531,100	0	4,531,100	3,502,819	1,028,281	横浜市より
内 訳	受領額	4,531,100		4,531,100	4,531,100	0	
	戻入額				△ 1,028,281	1,028,281	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】				0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】				0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】				0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】				0	0	0	
雑入		0	0	0	0	0	
内 訳	印刷代			0	0	0	
	自動販売機手数料			0	0	0	
	その他			0	0	0	
	その他			0		0	
収入合計		30,139,491	227,639	30,367,130	28,876,849	1,490,281	

支出の部								
科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
人件費		26,408,491	38,639	26,447,130	22,800,183	3,646,947	法人本部経費が含まれていません	
内 訳	本俸	19,758,491	38,639	19,797,130	17,328,905	2,468,225	所長0.5625名、包括3名、包括非常勤1名、生活支援1名	
	社会保険料	2,805,000		2,805,000	2,092,502	712,498		
	手当計	3,700,000		3,700,000	3,256,402	443,598	調整手当、超過勤務手当、期末手当、通勤手当、その他手当の合計	
	健康診断費	50,000		50,000	27,684	22,316	健康診断、インフルエンザ予防接種	
	勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0		
	退職給付引当金繰入額	50,000		50,000	67,972	△ 17,972	横浜社会福祉協議会共済掛金	
	その他	45,000		45,000	26,718	18,282	独)福祉医療機構退職共済掛金	
	その他						法人本部経費が含まれていません	
事務費		1,380,000	0	1,380,000	1,561,262	△ 181,262		
内 訳	旅費	20,000		20,000	21,174	△ 1,174	研修等参加時交通費	
	消耗品費	150,000		150,000	82,405	67,595	コピー用紙、プリンター、事務用品	
	会議随い費	0		0	0	0		
	印刷製本費	150,000		150,000	34,686	115,314	広報誌印刷、資料等印刷代	
	通信費	250,000		250,000	222,039	27,961	電話料金、参加案内等郵送料金	
	使用料及び賃借料	0	0	0	0	0		
	内 訳	自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
	内 訳	その他			0	0	0	
	備品購入費			0	0	0		
	図書購入費			0	9,350	△ 9,350		
	施設賠償責任保険	11,000		11,000	9,305	1,695	個人情報漏洩、業務中傷害、感染症	
	職員等研修費			0	0	0		
	振込手数料	15,000		15,000	14,160	840	事業講師派遣料等振込手数料	
	リース料	401,000		401,000	801,296	△ 400,296	コピー機、AED、パソコン	
	手数料	25,000		25,000	11,091	13,909	パソコンセキュリティ	
	地域協力費	8,000		8,000	0	8,000	地域自治会協力費	
	公租公課	0	0	0	0	0		
	内 訳	事業所税			0	0	0	
	内 訳	消費税			0	0	0	
	内 訳	印紙税			0	0	0	
内 訳	その他			0	0	0		
その他	350,000		350,000	355,756	△ 5,756	ガソリン代、自動車保険料、市社協会費、緑区社協会費		
事業費		1,164,000	0	1,164,000	823,313	340,687	法人本部経費が含まれていません	
内 訳	協力医	630,000		630,000	294,000	336,000	予算：指定額	
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	120,000		120,000	139,780	△ 19,780		
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	145,202	8,798		
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000	66,251	133,749		
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	60,000		60,000	178,080	△ 118,080		
	その他			0		0		
管理費		777,000	189,000	966,000	795,771	170,229	法人本部経費が含まれていません	
内 訳	光熱水費	312,000		312,000	318,987	△ 6,987		
	清掃費	340,000		340,000	348,348	△ 8,348		
	機械整備費	56,000		56,000	55,440	560		
	設備保全費	69,000	0	69,000	72,996	△ 3,996		
	内 訳	空調衛生設備保守			0	0	0	
	内 訳	消防設備保守	10,000		10,000	18,480	△ 8,480	
	内 訳	電気設備保守			0	0	0	
	内 訳	害虫駆除清掃保守	9,000		9,000	12,705	△ 3,705	
	内 訳	駐車場設備保全費			0	0	0	
	内 訳	その他保全費	50,000		50,000	41,811	8,189	
	共益費			0		0		
	その他		189,000	189,000		189,000		
	修繕費		126,000		126,000	81,312	44,688	予算：指定額
その他		284,000	0	284,000	0	284,000	法人本部経費が含まれていません	
物価高騰支援金		284,000		284,000		284,000		
支出合計		30,139,491	227,639	30,367,130	28,061,841	4,305,289		
差引		0	0	0	2,815,008	△ 2,815,008		

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名：山下地域ケアプラザ

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6,000	5,783	237	4,000	3,955	45	7,000	7,206	-206			0			0
	その他	0	351	-351	0	0	0	300	769	-469	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	認定課差			0			0	300	437	-137			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他		351	-351			0		332	-332			0			0
	収入合計(A)	6,000	6,114	-114	4,000	3,955	45	7,300	7,975	-675	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	7,500	7,086	414			0			0
	事務費	50	8	42	50	8	42	900	1,022	-122			0			0
	事業費			0			0	70	275	-205			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	3,500	3,679	-179	2,500	2,446	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	3,500	3,679	-179	2,500	2,446	54			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	3,550	3,687	-137	2,550	2,454	96	8,470	8,383	87	0	0	0	0	0	0
収支 (A)－(B)		2,450	2,427	23	1,450	1,501	-51	-1,170	-408	-762	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。
※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることを			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）		ねらいとした事業			7：その他		

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施 回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
1	山っぱれ塾	令和2年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	令和2年より講座、地域内の施設の調査、介護保険制度の勉強会などを実施。メンバーの目標「今年こそ、緑区版エンディングノートを書き上げる」をテーマに事業を継続。	1:高齢者	5	区版のエンディングノートをカテゴリーに分けて、開催時間内で記入することを中心に実施。不安な点はメンバーで助け合いながら実施。新たな情報提供などはケアプラザが支援。	6	0	31	0
2	シニアライフ講座	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護保険制度の理解を推進すると共に、エンディングノートを活用し自ら老後の備えを考えていく機会とする。	1:高齢者	5	介護保険の知識を講座を通して理解すると共に、自身の医療や介護の意向を緑区版エンディングノートを活用して記載していく。全6回講座	6	0	84	0
3	ふーふーとんとン美味	令和4年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	料理を通して友だちをつくり、献立や買い物をする事で認知予防にもなる。	1:高齢者	5	毎月1回 10:00～14:00	12	0	128	0
4	PTが教える講座「若く見える身体づくり」	R7	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	姿勢を整えることで転倒予防に繋げる。	1:高齢者	5	姿勢をよくするための日常生活で気を付けること筋トレ・ストレッチを知る。6/11 実施	1	0	22	0
5	GOGO脳活	R3	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	認知症の理解と周知、認知症の方の対応方法を学ぶ	5:地域	1	認知症の理解や治療から認知症の方への対応方法など学び、脳トレを行う	12	0	253	0
6	健康体操	R1	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	介護予防の理解と介護予防の体操を行い、フレイル予防につなげていく(みどり台周辺住民)	5:地域	1	フレイル予防を中心に、体操やコグニサイズを行う 2回/月(第2、4木曜日)	22	0	203	0
7	のびのび体操	R3	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	介護予防の理解と介護予防の体操を行い、フレイル予防につなげていく(ケアプラザ周辺・地域全体)	5:地域	1	介護予防体操を行なう。また、年1回	21	0	586	0
8	配布版「やました元気ゼミ」(毎日、体操・脳トレしよう)	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	自宅で毎日、フレイル予防を行う	5:地域	1	毎月1回発行。自宅で毎日介護予防を行う冊子を地域住民に配布してもらう(配布数200/月)	14	0	91	0
9	ぼちぼち倶楽部	R5	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	体操以外の趣味の方に地域とつながりやフレイル予防を周知していく	5:地域	1	趣味を通じて、参加者との交流を行う。フレイル予防の理解を深める	22	0	312	0
10	男性のための筋トレで若返り	R5	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	男性向けに筋トレを行い、フレイル予防を理解する	5:地域	1	ストレッチから筋トレまで身体を動かす第3月曜日	38	0	109	0
11	青空体操ひろば	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	体操を通して住民同士のつながりを作る	5:地域	1, 2, 3, 4	毎週火曜日～土曜日 9:30～ラジオ体操をする前に、チューブでストレッチや右脳体操をして笑って筋肉をほぐしてから行う	208	0	3044	0
12	ピヨピヨひろば	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て世代の居場所作り情報交換できる場をして活用	3:養育者及び乳幼児	2	毎月第2、4木曜日 10:00～11:45 第2木曜日は、自由にひろばとして遊んでいたき最後に読み聞かせをする。 第4木曜日は、こどもの成長記録としてアルバム作成も自由参加でできるひろばとして参加していただく(1回500円)	22	0	655	0
13	おやこヨガ	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て世代の居場所作り情報交換できる場をして活用 子供の運動能力アップなど	3:養育者及び乳幼児	2	今年度よりおやこヨガに名称変更。毎月第2火曜日 10:15～ 1時間はベビーマッサージ含みゆったりとした親子でできる体操を行う。子供の運動能力upのための工夫のされている。	11	0	93	0
14	歴史謎解き講座	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民に日本文学を楽しんでもらいながら、新たな仲間づくりと新たな担い手発掘を目的	5:地域	2	毎月第3水曜日 13:30～15:00 今年度は女帝をテーマに歴史の講座を行う。	11	0	77	0
15	やまケア学習室	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	誰もが勉強する環境が与えられている義務教育課程において、塾ではなく山下地区にいた大学生がボランティアを行いながら学校GOOといっしょに中学生の居場所を確保する	4:子ども・青少年	5	緑が丘中学校の定期テスト前の学習支援としての場所の提供と地域に住む大学生にボランティアとして学習サポーターになってもらい活動している。	12	0	194	0
16	おとなの合唱部	R7	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	発声練習や声を出すことで誤嚥予防につなげる。腹式呼吸で健康をサポートし、運動効果につなげる。 講座を通して、学び支えあう仲間づくり。	5:地域	1, 2, 7	季節のうたや身体活動を加えての脳トレ体操、歌謡曲等を交えながら楽しくコミュニケーションを取り入れながら活動	9	0	200	0
17	みんなでつながるハッピーロー	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	事業所同士のつながりを強化し災害時などの対策や地域情報を共有する目的。	2:障害児・者		年4回の8月、10月、12月の10:00～12:00 スポーツレクや音楽レクをしながら顔の見える信頼関係づくりを構築する。 障がい理解にも取組。	6	0	273	0
18	ヤクルトおなか元気教室	令和7年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	「おなかの話し」をしてもらい、腸のはたらきと便秘などの話しをしてもらう	5:地域	1, 2, 3	おなかのうごきとはたらきを理解しながら、体操を取り入れる。 腸がどんな働きをするか模型を見ながら理解する	1	0	22	0

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児		
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者		
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）			7：その他				

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
19	スマホ教室	令和3年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	スマートフォンを使いこなせるようにする	1:高齢者	5	スマートフォンの基本操作と写真や地図の使い方 不定期開催	4	0	44	0
20	絵手紙体験教室	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	趣味を通しての仲間づくりやフレイル予防	1:高齢者	5	毎回テーマとなる物を決めて描く	5	0	44	0
21	山下つながる音楽カフェ	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・アート展覧会を通して、ケアプラザの周知 ・障がい児者への居場所作り ・障がい児者と地域住民が身近な存在となるような働きかけ ・共に助け合いが出来るきっかけ作り	2:障害児・者	1, 3, 4, 5	ケアプラザ周辺の障がい児者施設の作品を展示し作業している姿を実際に見ていただけるようにし住民へ障がい児者施設への取り組み方法など目で見えて分かるようにした。展覧会は11/15～11/30の15日間行った。 実際に作品を手にとって見れるように販売も行った	1	0	65	0
22	お肌と手足のスキンケア講座	令和7年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	アンチエイジングにスキンケアを実施し、介護予防につなげる	1:高齢者	5	・顔のスキンケアで血流を良くする ・足の爪の切り方で歩き方や身体のバランスが変わる ・ハンドマッサージで脳細胞を刺激しよう	2	0	52	0
23	オレンジスカイハイ	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の方と家族を支援するために認知症の理解や支援が行える	5:地域	1, 6	認知症の方や家族をしえんする。若年認知症の方が地域で生活できるなど定期的に開催する	5	0	48	0